

**令和4年度
地域福祉に関する地区懇談会**

結果報告書

令和4年11月～12月開催

1 目的

現在は、超高齢社会・核家族化の進行など様々な社会変化により、地域住民の福祉ニーズは多様化・複雑化しています。住み慣れた地域で安心して生活していくためには、行政などによるサービスの提供だけではなく、地域の人たちがお互いに助け合い、支え合うことが大切です。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、人と人との接触の機会の減少等により、人と人、人と地域とのつながりの希薄化が加速しています。

今回の地区懇談会では、行政区ごとに身近な地域の方々と集まり、今の地域の状況を再確認し、自分の住む「これからの地域に大切なこと」について話し合うことを通じ福祉意識の醸成を図り、住民主体の共助のまちづくりを推進します。

2 開催概要

① 参加者

福祉委員（区長）、民生委員児童委員、ふれあい・いきいきサロン関係者、シニアクラブ単位会長、見守り活動推進員、ボランティア、福祉団体、商工会役員、PTA、母子愛育班員、地域福祉に関心のある方 等

②開催地域等

地 域	日 時	場 所	参加者数
南地区	令和4年11月26日（土）10：00～12：00	南公民館	15名
東地区	令和4年11月26日（土）14：00～16：00	東公民館	14名
北地区	令和4年11月27日（日）10：00～12：00	フレサよしみ 会議室5	37名
西地区①	令和4年12月3日（土）10：00～12：00	西部ふれあい センター	34名
西地区②	令和4年12月3日（土）14：00～16：00	西部ふれあい センター	37名
令和4年度地域福祉に関する地区懇談会		参加者 合計	137名

3 懇談会の内容と方法

（1）地域福祉及び地区懇談会について

福祉とは何かを確認し、地域福祉の推進は地域住民が主体となり共生する地域社会の実現を目指して行われるものであることを共有しました。そのうえで、現在の地域の状況や地域生活課題を踏まえ、地区懇談会により身近な地域の方々と地域の問題・困りごとを共有すること、そして、それを「私（私たち）の問題」として意識することにより地域の福祉力を高めることの重要性について理解を深めました。

(2)令和4年度地域福祉に関する地区懇談会(私の私たちのこれからの地域に大切なこと)

前回の地区懇談会から4年ぶりの開催となり、新型コロナウイルス感染症の影響による地域社会の変化を踏まえ、地域における身近な課題について改めて整理し、見える化しました。さらにその中から重要課題を選出し、住民として取り組むべき課題解決の方法を見出しました。

方法は、主に行政区ごとにテーブルを囲んでのグループワークで行いました。

① 私たちが感じている課題について整理しよう！

「今までと共通している課題」「新たな課題」「すでに取り組んでいる上での課題」など、地域の現状と取組状況を含めて、具体的に深めました。

東地区

A グループ：

②私たちが感じている課題について整理しよう！

(今までの懇談会で出た課題より一部抜粋)




- ・近所付き合いが少なくなっている
- ・地域の交流の場、気軽に集まれる機会がほしい
- ・若い人との接点や世代を超えた交流を増やしたい
- ・自治会加入者が減っている
- ・地域の行事に無関心、行事への参加者が減っている
- ・子供が安心して遊べる場所が少ない
- ・一人暮らし等の世帯の実態が把握できない
- ・誰に相談したら良いのかわからない

① 個人ワーク 5分

② グループワーク 5分

② 「私たちにできること」を考えよう！

全体の課題の中から話したい課題（テーマ）を3つ選び、それに対して「私たちにできること（取り組みたいこと）」について話し合いました。

課題（テーマ）			私たちにできること（取り組みたいこと）	
1				
2				
3				

《懇談会の様子》

(東地区)



(南地区)



(西地区①)



(西地区②)



(北地区)



各 地 区 の 結 果

令和4年度 地域福祉に関する地区懇談会 ～ 私の 私たちの これからの地域に大切なこと ～




東 地 区

上銀谷・古名・新道・成城台

① 私たちが感じている課題について整理しよう！（「一部抜粋」以外）

- ・自治会の問題
- ・ゴミの集積所に他の地区の人がいる
- ・自治会の役員の順番性は問題か？
- ・自治会から抜ける若い人が多い
（字費、わずらわしさ、役員など）⇒災害時は必要ではないか？
- ・災害時を考えると近所のつながりは必要
- ・防災について、集まってはどうか？
- ・イベントが少ない
- ・小学校を統合すると地域から子どもの声が消えてしまう
- ・子ども会がない
- ・若い人と触れ合う機会がない
- ・若い人たちとどうつながれるか？

② 「私たちにできること」を考えよう！

課題（テーマ）			私たちにできること（取り組みたいこと）
1	自治会について		イベントの強化 個人のパワー（そば、餅つき等）
2	若い人とつながるには？		若い人たちの横のつながりの組織 転入した方の情報を集める
3	防災		地域ごとの防災イベント（AED等） 防災組織の再点検




飯島新田・東第二小学校

① 私たちが感じている課題について整理しよう！（「一部抜粋」以外）

- ・健康が一番大切
- ・サロンの担い手がない
- ・行事に参加する人を増やしたい
- ・平日は仕事、土日は家事があり、参加しづらい

- ・ 65歳から70歳くらいの方（フリーの方）を中心にしたらどうか？
- ・ コーヒー、紅茶、盆栽、野菜づくりなど教えてもらいたい人がいるのでは？
- ・ 料理教室や手芸等の趣味から意欲へ
- ・ 畑づくり（休耕地を活かせないか？）
- ・ 近所付き合いが大切
- ・ 空き家、空き地が増える（跡継ぎがいない）
- ・ 交通（車が使えなくなった時）の便が悪い
- ・ 子ども会も担い手不足

② 「私たちにできること」を考えよう！

課題（テーマ）			私たちにできること（取り組みたいこと）
1	健康が大切 サロンの後継者		退職すぐの方を取り込む 60～70 歳くらいの方のニーズに合わせて、 コーヒーや盆栽、野菜作りなど 空いた畑で野菜を作る⇒芋煮会開催
2	近所付き合い 行事参加者増やしたい		現役世代は難しい ⇒元気なお年寄りに参加してもらう 代表者が大切。子供たちも一緒に行事へ （焼き芋、パークゴルフ、花見等） ⇒学校・児童とコラボ
3	交通問題 車がかえなくなると住め ない（空き家・空き地が増 える）		上記の、地域のイベントを活用できない か？




久保田新田・高尾新田・古名新田

① 私たちが感じている課題について整理しよう！（「一部抜粋」以外）

- ・ 地域の付き合いが少ない
- ・ 地域住民の顔が見えない
- ・ 集会所が使われていない
- ・ 地域の交流がない
- ・ 年代を超えた付き合いがない
- ・ 祭りごとに関心がなくなった
- ・ 地域のイベントがない
- ・ 一人暮らしが多い
- ・ 子どもが少なく、親の付き合いも少ない
- ・ 学校等の各種組織（PTA等）との付き合いがない
- ・ 自治会の順番性を廃止し、地域の推薦によりリーダーを育成
- ・ 地域のリーダーがいない

- ・老人ばかりで若手がない
- ・交通の便が悪いので、買い物が不便
- ・跡継ぎがない
- ・空き家が放置されている
- ・道路にゴミが捨てられている

②「私たちにできること」を考えよう！

課題（テーマ）			私たちにできること（取り組みたいこと）
1	地域の交流の場が少ない		学校、PTAとの連携を図る サークルや趣味の場を作る（パークゴルフ、輪投げ、ラジオ体操）
2	世代間の交流がない		お祭りを復活する 自治会長、シニアクラブ会長、民生委員、学校、PTA関係の話し合いの場を設けて行事を推進する
3	近所付き合いが少ない		新年会、忘年会を積極的に実施する 自治会長の順番性を推薦性にして、リーダーの育成につなげる

南 地 区




久保田志久・久保田賀美・吉見ヶ丘

①私たちが感じている課題について整理しよう！（「一部抜粋」以外）

- ・ゴミ捨てが困難になってくる
- ・農地の草刈りが大変な状況
- ・もうどうなっても良いので、このままでも良い
- ・災害時（水害について）
- ・旧住民と新住民の交流がない（参加する方が少ない）
- ・なんでも言える場が欲しい
- ・地区を住みやすくするには、区長が積極的に働きかけることが大事
- ・70歳以上の奉仕活動の免除等、新しいことを取り入れてほしい
- ・交通が不便であるため移動が困難
- ・子どもたちが吉見町を出て行ってしまう
- ・高齢者と若い世代の交流がない（若者と子ども、親と子）
- ・近所付き合いが薄い（少し離れると、どんな人が住んでいるのか、世帯状況が分からなくなる）
- ・お年寄りの人は、たわいのない話でも聞いてほしい（話し相手が欲しい）
- ・地域のまとまりがない
- ・区長のなり手がいない

- ・災害時を考えると身寄りのない人への対応準備が必要

② 「私たちにできること」を考えよう！



課題（テーマ）			私たちにできること（取り組みたいこと）
1	少子高齢化による孤立化		若い人との共生 吉見で生活できる場を作る 交流の場を多く作る
2	災害発生時の対応		声かけ （近所）
3	交通問題 車がつかえなくなると住めない（空き家・空き地が増える）		上記の、地域のイベントを活用できないか？

前河内

① 私たちが感じている課題について整理しよう！（一部抜粋以外）

- ・各世代での会があったが、コロナでほとんどなし
- ・地域のつながりが無い（昔は農家が多かったが、今は会社員が多い）
- ・公民館、子育て支援主催の七夕は実施。久しぶりで多くの子どもたちが参加した。
- ・公園がない、遊ぶ場がない
- ・「あの方なら」というリーダーがいない
- ・公民館活動、文化祭、吹き矢大会、町民体育祭後の慰労会等がなくなった
- ・灯籠を今年は開催
- ・誰に相談したらよいかわからない
- ・子どもが遊ぶ場所、時間がない
- ・公園がない
- ・知らない人が増えて、あいさつしない、しづらい（不審者に思われる）
- ・体育祭がないと若い世代に会えない
- ・集会所中心のものがなくなった

② 「私たちにできること」を考えよう！

課題（テーマ）			私たちにできること（取り組みたいこと）
1	付き合いが少なくなっている		集まりを復活・グラウンドゴルフ ・集会所使用の活動（踊り、カラオケ、祭り） ・年代別の会活動（旅行） ・歩こう会 ・文化祭等の公民館活動
2	子どもの遊び場がほしい		・安全に遊ぶ場があれば、子どもや見守る大人も増える ・手入れをする人が必要

3	誰に相談したら良いのか？	→	古い地域なので声掛けできているが、難しいところもある。
---	--------------	---	-----------------------------

※コロナの心配がなくなることにより活動（再活動）が見込まれる

下細谷・江網・大串・JA なごみ

①私たちが感じている課題について整理しよう！（「一部抜粋」以外）

- ・交流の場をどう企画するか？地域の交流の場を持つ（地域の交流の場が少ない）
- ・行事がなくなる
- ・みんなが参加できるイベントを復活させる
- ・コロナの影響で地域のお祭りが中止、法事等が縮小され、交流の機会が減る
- ・新たに入居した人が自治会に入会しない
- ・高齢者世帯との関り
- ・近所付き合いや人との関り、行事をどうするか？
- ・ボランティアで会話を持つことができる、笑顔が生まれる
- ・少子化により近所に子どもがいない
- ・健康を保つ、体力づくり
- ・一人暮らしの高齢者、高齢者世帯にどう接したら良いか？

②「私たちにできること」を考えよう！

課題（テーマ）		私たちにできること（取り組みたいこと）
1	近所付き合い 人と人との関り合い 行事をどうするか	<ul style="list-style-type: none"> ・昔からの行事を続ける（役員は当番） ・各年代（子どもから老人まで）が楽しめるイベントの内容 ・行政区、JA なごみ、レクリエーションの復活
2	個々とのつながり 災害時の地区での対応	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世帯との関り ・見守り（宅配弁当や牛乳宅配による生活状況確認） ・独居（高齢）世帯など声掛けし、一緒に避難行動する
3	高齢者世帯との関わりを持つ 健康を保つ	<ul style="list-style-type: none"> ・周知方法 声掛け （住民同士で話をすることから） 回覧板の活用 （具体的な内容の作成） 散歩（地区内を散歩して、一人暮らしの方へ声掛けする）

西 地 区

根古屋・常磐苑

① 私たちが感じている課題について整理しよう！（「一部抜粋」以外）

- ・子ども会の復活
- ・近所の人に困りごとを言えない、言わない、隠してしまう
- ・社協等に相談しづらい
- ・周りが感じてあげられると良い
- ・どこまで入っていったら良いかわからない
- ・地域とつながらない心配な人がいる
- ・一人暮らしの限界を感じる人がいる

② 「私たちにできること」を考えよう！

課題（テーマ）		私たちにできること（取り組みたいこと）
1	福祉のサービスを知ってほしい	<ul style="list-style-type: none"> ・配食サービスを知ってもらうため、近所へ発信する ・オレンジカフェ（常磐苑）の広報チラシを配布する
2	買物	ご近所同士で声をかけて、一緒に買ってあげる
3	若い人との交流	行事を増やして、皆が参加できるように働きかける




流 川

① 私たちが感じている課題について整理しよう！（「一部抜粋」以外）

- ・近所の人との付き合いはあいさつだけ。必要以上のことは話さない
- ・回覧を回すときにあいさつがない
- ・引っ越してきた方と地域の方との関りが少ない
- ・移動手段が少ない
- ・忘年会、新年会がコロナ禍でなくなっている
- ・草刈りなどの欠席者が多くなっている
- ・コロナ禍で集まる機会が減り、情報交換の場が少なくなった
- ・パトロール参加協力をしてくれる人を集うには？（パトロールの人材不足）
- ・一人くらいの家が多くなった。
- ・病人を抱えている家族への協力の仕方
- ・何事においても、深く関われない
- ・あいさつ、声掛けがない

- ・地域全体の集まりの場として、寺の本堂の活用
- ・行事に関する関心がない

②「私たちにできること」を考えよう！




課題（テーマ）			私たちにできること（取り組みたいこと）
1	近所付き合いが少なくなった		ラジオ体操を月 1 回実施している 回覧板を回すときにポストに入れるだけでなく、声掛けをするようにする （どんな活動でも声掛けが大事）
2	地域の行事に関心が薄い		地域 みんなが参加できる方法を考えていく みんなが参加しやすい「輪投げ大会」を実施した（三世代 9 チーム、45 人参加） お寺を有効活用する（映写会の実施）
3	一人暮らしの高齢者が増えてた（空き家も） 移動先までの足がない		声かけをする（あいさつから始めよう！） 車に同乗、買い物の手助けなど（現状は難しい…）

江口・久米田

①私たちが感じている課題について整理しよう！（「一部抜粋」以外）

- ・サロンは女性しか来ない、男性のお茶のみの場所が必要
- ・コロナで多くの会（集まり）ができなくなってしまった
- ・コロナで再開が難しくなっている
- ・グラウンドゴルフ、パークゴルフは盛んにおこなわれている
- ・外に出るための声かけを継続的に行う
- ・声かけのきっかけが難しい
- ・コロナを理由に行事がなくなったが、それを理由になくした（好都合）ものもある
- ・空き家が 많아 なった、空き家の管理、草が大変
- ・公園の管理をしてほしい

②「私たちにできること」を考えよう！




課題（テーマ）			私たちにできること（取り組みたいこと）
1	近所付き合いが少ない		出るための声かけを継続していく コロナで出づらくなっている活動の再開
2	高齢者男性の居場所づくり		男性の人のお茶のみの場所づくり 人数が少なくてもサークル活動づくり
3	地域の環境 空き家（草、野良猫） 公園の管理		野良猫を地域として飼うため行政につなげる 草刈り等を地域の人がやっているが、区長さんより行政への声かけをお願いする

和名・黒岩・御所団地・JAなごみ

① 私たちが感じている課題について整理しよう！（「一部抜粋」以外）

- ・気づいてあげること、隣近所の気遣い、関心を持ち合う
- ・一人暮らし等、家族状況がわからない（隣近所の状況がわからない）
- ・独身者が多い
- ・おせっかいな人がいない
- ・若い人の働く場所がない
- ・地域での班長等の役になる人がいない
- ・地域での共同作業が少ない
- ・隣近所や道路、畑等の草木の清掃
- ・道路の樹木の伐採
- ・下水道がない

② 「私たちにできること」を考えよう！




課題（テーマ）		私たちにできること（取り組みたいこと）	
1	隣近所の状況がわからない おせっかいな人がいない		隣近所に関心を持って気遣う あいさつ、声かけをする
2	地域の環境整備（下水道、 道路、通学路、草刈り等） 地域での共同作業が少ない		各行政区単位で簡単にできる共同作業を行う
3	若い人が少ない（働く場所 がない） 独身者が多い		地域で多世代の方が参加できるイベント等 を開催する

山ノ下・田甲・前山

① 私たちが感じている課題について整理しよう！（「一部抜粋」以外）

- ・子どもが少ない
- ・子どもたちの遊び場がない
- ・若い世代が少ない
- ・ボランティアが少ない（ボランティアを増やし、マンツーマンの福祉を）
- ・個人単位で福祉をすすめるのが現実的だ
- ・時間があっても、地域の活動へ参加しない。どのように誘ったら良いのか？
- ・コロナのため、イベントが減っている
- ・地域の活動がわかりづらい
- ・空き家が増えている
- ・買物難民の問題
- ・地域活動はわずらわしい
- ・地域をまとめるのにルールがないため、やりたくない

②「私たちにできること」を考えよう！


課題（テーマ）			私たちにできること（取り組みたいこと）
1	近所の交流		交流の場の役職、マニュアルがあると良い 話し合いの場（呼びかける人、場所、内容） 昔の人の意見を伝える機会が必要 若い人の意見を言える機会が必要
2	困っている人がいる		
3	資源がない		

さくら台・六ノ谷

① 私たちが感じている課題について整理しよう！（「一部抜粋」以外）

- ・地域との交流がない
- ・自治会に入っていないなくても交流、説明しなくてはいけない
- ・防犯パトロール、：人数が少ないと誰かがやらなければいけない
- ・ゴミ集積所の増設
- ・役員のなり手がいない
- ・若い人は関わりたくない（昔の人が退いたらやる）
- ・民生委員は高齢のイメージがあるが、仕事をしながらでもできる
- ・自治会は相談できる場ではない（1年では内容もわからない）
- ・なぜ自治会費を払うのか
- ・子ども会がなくなっている
- ・地域で交流しないのはもったいない（近所に話しかけられて安心した）

②「私たちにできること」を考えよう！

課題（テーマ）			私たちにできること（取り組みたいこと）
1	若い世代が自治体に入りたがらない 住みづらい点を話す場がない ごみ集積所増設の住民の同意が得られない 地域の集まりは同じ人 みんなが集まる行事が減っている（近所付き合いが減っている） 自治会役員のなり手がいない		交流の場を増やす イベントを増やし、地域の交流を考えるには役員は2年交代が望ましい （順番性にしたが1年交代なので引継ぎがうまくいかない）

2	子どもの人数の減少 子ども会がなくなった 子どもがいないので自治会との連携はとれない	地区役と区長で連携を図る 防犯（見守り）活動の参加者を募る いまいる活用
3	高齢者の孤立 高齢者の移動手段	声かけ、庭に出る いまいるへ口コミなどで参加を促す ベルクの移動販売 町のデマンドが使いづらい

たつみ平

①私たちが感じている課題について整理しよう！（「一部抜粋」以外）

- ・独居の人が多いため、寂しくならないような対策が必要
- ・車に乗れなくなったらどうしよう
- ・住民同士の交流の場が少ない
- ・若い人との接点や、世代を超えた交流を増やしたい
- ・若い人は余裕がない、働くことで精一杯
- ・定年した方しか集まらない、女性が多い
- ・「一人暮らしの会」を作りたい
- ・地域の行事に無関心、行事への参加者が減っている
- ・相談相手や相談方法がわからない
- ・生活困難な人や支援が必要な人の情報がないので、支援方法がわからない
（プライバシー、個人情報の問題）
- ・男性の参加者が少ない
- ・回覧を回しているが、無関心な人がいる
- ・公園の整備が十分ではない

②「私たちにできること」を考えよう！

課題（テーマ）		私たちにできること（取り組みたいこと）
1	独居の人が多 車に乗れなくなったらどう しよう	声かけをする、自分からも声をかける 家にこもらず、外に出るようにする 店舗のサービスを利用 移動販売車を利用
2	住民同士の交流 世代間の交流 男性の参加 等	・コロナ禍で住民同士の交流がなくなったた め、百歳体操やサロンに積極的に参加するよ うに呼びかける ・回覧版は必ず目を通すようにしてもら う ・転入者があった場合はプロフィールを書い て、みんなに覚えてもらう

3	プライバシー」や個人情報の問題	→	
---	-----------------	---	--

新吉見

① 私たちが感じている課題について整理しよう！（「一部抜粋」以外）

- ・若い世代の交流がない
- ・人が集まる機会がない
- ・高齢化が進んでいる
- ・高齢者の閉じこもりから認知症の発症につながってしまう
- ・少子化で子どもが少ない
- ・自治会非加入者は増えている、若い世代の参加が少ない
- ・コロナが免罪符のように取り扱われ、祭り等のイベントが中止になる場合が多い。
- ・子どもが遊べる公園、広場が少ない
- ・不審者の情報が警察から各学校へ来るが子どもはいつも通り下校… 不安です
- ・新吉見団地から東松山までの交通（買物、通院など）、高齢になると不安あり
- ・デマンドを知らない人がいるので、定期的な周知が必要
- ・支え合いなどの対象者がわからない
- ・コロナ自宅療養の孤立
- ・街灯が暗い
- ・ゴミの分別ができない高齢者への対応
- ・ゴミの不法投棄が多い
- ・空き家の問題（家主不在、衛生、庭木、個人情報 等）

② 「私たちにできること」を考えよう！

課題（テーマ）		私たちにできること（取り組みたいこと）
1	空き家が多数あり、空き巣、火災、庭木の問題が多い	空き家の所有者をあらかじめ把握しておく
2	交通の便が悪く、高齢世帯に不安がある	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド交通の利用方法を各自学び直し、行政も周知を図ってほしい ・学び直しの機会として、自治会の様々な集まりを利用したい
3	自治会内のイベント、集まりが減り、近所の交流、互いを知らない世帯が増えている印象	子ども食堂のような活動をするグループもあり、工夫してイベントや集まりを開催していきたい

南吉見

① 私たちが感じている課題について整理しよう！（「一部抜粋」以外）

- ・自治会の行事、イベントお祭り等ができずに、交流の機会が減った
- ・自治会加入者が減っている

- ・ 多人数での会合が開催しづらい
- ・ 仕事が忙しい、不規則勤務等でいつもいない、コミュニケーションがとれない
- ・ 働く人が増え、日中の留守が多い
- ・ 若い人との接点がほしい
- ・ サロンの参加者が減っている、人が集まりづらい
- ・ 子どもたちとの交流がない（運動会等で学校に行く事がなくなった）
- ・ 決まった人としか、会話がな
- ・ 近所付き合いが少なくなっている
- ・ 一人暮らしが増え、気になるが、話す機会がない
- ・ 引きこもり気味の人が増えた
- ・ マスクで表情がわかりづらい
- ・ マスクをして交流する、新しい形の会合を検討

②「私たちにできること」を考えよう！

課題（テーマ）		私たちにできること（取り組みたいこと）
1	自治会 行事 交流	町内行事、お祭り ウォーキング・ラジオ体操 焼き芋大会 あいさつ運動 花を植える・町をきれいに
2	サロンとの関わり	サロンでの交流、輪投げ 知り合いや一人暮らしの方への声かけ 福祉関係者から意見者アイディアをもらい計 運動などを取り入れる
3	マスクでの交流	外でのイベント オンラインの活用 除菌作業の徹底 集会所に Wi-Fi を入れる みんなで清掃する

日向山

①私たちが感じている課題について整理しよう！（「一部抜粋」以外）

- ・ 若者との交流が少ない
- ・ 子どもの将来を考える機会がない
- ・ 若い親を支援する機会を作る
- ・ 大人（高齢者）の進路を学べる場がない
- ・ 気軽に頼れる人が身近にいない
- ・ 空き家が増えてきた
- ・ 総会への参加者が少ない

- ・自治会活動も少なく、交流の場が少ない
- ・地域の行事に関心がない
- ・山の上の団地であり、交通に不便を感じる
- ・お店まで遠い
- ・将来、交通の便に関して不安
- ・参加すると得ををすると思えること
- ・個人情報難しい
- ・一人暮らしが増えてきた
- ・どこに相談したら良いかわからない

②「私たちにできること」を考えよう！




課題（テーマ）		私たちにできること（取り組みたいこと）
1	地域の交流	サロン月1回、いきいき体操週1回 ラジオ体操週1回、グラウンドゴルフ週1回 あいさつを積極的に行う 公園の整備（いつでも立ち寄れる場所づくり）
2	一人暮らし、車の問題 （弱者への対応）	困っている人、困っている内容の把握
3	魅力のある行事がない	何をやってほしいかアンケートをとる カラオケ大会、夏祭り（神輿、花火、芋煮会） 公園のイルミネーション

湖 畔

①私たちが感じている課題について整理しよう！（「一部抜粋」以外）

- ・一人暮らしが増えた、一人暮らしの人の見守りの体制
- ・若い人が少ない
- ・子どもが減った、団地内の子どもの把握
- ・団地内のつながりが少ない
- ・新住民を紹介する機会がない
- ・買い物や通院が難しい
- ・車の運転をやめる人が多くなる、運転をいつ辞めるか考えている
- ・あいさつ、声かけができていない
- ・サロンの充実、サロンの担い手が少ない
- ・男性の参加が少ない、イベントの方がやりがいを感じるのでは？
- ・施設の情報が欲しい
- ・庭木、草取りが困っている
- ・定期的な勉強会がやりたい

②「私たちにできること」を考えよう！

課題（テーマ）		私たちにできること（取り組みたいこと）
1	団地内で困っている人を地域で助けたい（地域の男性の力を活用）	 困りごとを聞く機会を作る（サロン等） 協力できる人がいるか、地域に声をかける 協力できる人のための勉強会を開く
2	サロンの充実（団地内の交流を増やしたい）	 ラジオ体操の後、何かできないか？ 百歳体操 作業日のあと、何かできないか？集まれないか？ サロンで何がしたいのか聞いてみる（女子会など）
3	災害時に一人も取り残さない関係性づくり	 共通の認識づくり （チラシ、勉強会、意見交換など） 防災訓練を行いたい（集会所、西が丘小等） 隣の人と、もっと知り合いになる


北 地 区

地頭方

①私たちが感じている課題について整理しよう！（「一部抜粋」以外）

②「私たちにできること」を考えよう！

※一体的に検討し記載する

課題（テーマ）		私たちにできること（取り組みたいこと）
1	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流（シニアクラブの三世代輪投げ大会） ・世代間コミュニケーション不足 ・家族中心で近所付き合いがない ・地域の高齢化、少子化 ・一人暮らしの実態が把握できない ・近隣の連携は取れている、隣組長など今までの地域の役は続いている ・コロナになってから近所での付き合いが減っている ・近所での行事が少なくなった（サロンでやるしかない） ・屋敷の清掃、畑の草刈りボランティア等ガイドラインをつくろう 	 三世代交流（輪投げ） ※コロナの影響があるため、現在検討中

2	<ul style="list-style-type: none"> ・家族中心で近所付き合いがほぼない ・コロナで家庭内の団結が強くなる ・民生委員活動へどう協力するか ・自宅で閉じこもり、話す場がない ・世帯の把握ができない ・一人暮らしの人の買物 ・車に乗れない人の支援 	→	世帯の把握 マッピング（子どもたちがわかるように作成）
3	<ul style="list-style-type: none"> ・田んぼや畦道の草刈り（土地改良でPRしてほしい） ・農地の問題 ・神社への関心がない ・災害時の対応 	→	神社のお礼は任意なので強制ではない

上砂・明秋・一ツ木・今泉・北小学校

①私たちが感じている課題について整理しよう！（「一部抜粋」以外）

- ・サロンがお年寄りのイメージがあり、お年寄りしか集まらない、男性の参加がない
- ・コロナ禍で行事やイベントが休止状態
- ・近所の交流が減っている
- ・交流の場を増やしたい
- ・子どもの数が減り、世代間交流が難しい（コロナで特に交流が減少）
- ・個人情報により、支援が難しい
- ・近所での声かけが防犯対策にもなる
- ・子どもの声がしない（友達ができない）
- ・あいさつをしてくれる子どもが多い、定着してほしい、大人が手本を見せる
- ・サロンに行事のイベントを合わせ、サロンに変わる活動をしている
- ・学校の体験活動の指導者

②「私たちにできること」を考えよう！




課題（テーマ）		私たちにできること（取り組みたいこと）	
1	コロナ前に戻す第一歩 （サロン、集会、イベント等）	→	リーダーと賛同者（フォロワー） 継続性と持続可能性 51パーセントの発想
2	地域内の声 （子ども、大人同士）	→	ちょっとした挨拶が大切 「おせっかい」も必要 家への訪問の在り方⇒庭先や畑などで 自助、共助としての声かけ
3	世代間の価値観や個人情報 行事内容や方法についての 意識の差	→	

中曽根

①私たちが感じている課題について整理しよう！（「一部抜粋」以外）

- ・地域への関心が少ない
- ・人間関係が希薄になっている
- ・近所付き合いが少ない
- ・介入するのを嫌がる
- ・年代が若くなると考え方が違う（それぞれの価値観）
- ・余計な話がしづらい（気持ちが共有できていればよいが…）
- ・回覧板の声かけがない
- ・個人情報保護に寄り取り扱いが難しくなった
- ・近所同士で車の乗せ合いは、責任問題が気になる
- ・困っていることが見えない、助けようがない
- ・噂話が嫌、話をしなくなる
- ・おせっかいしても、うるさがられる
- ・集まりをわずらわしく感じている人がいると思う
- ・草刈りや缶拾い、集まりの場がある
- ・コロナ禍で会う機会やイベントが減った
- ・街灯が少なく暗いため、危ない
- ・どこに誰が住んでいるのかわからない
- ・若い人が住みづらい
- ・子どもが少ない
- ・デマンドが不便（途中下車できない、病院、買物に不便）
- ・交通の便が良ければ住む人もいると思う

②「私たちにできること」を考えよう！

課題（テーマ）		私たちにできること（取り組みたいこと）	
1	近所付き合いが希薄 （理由）個人情報、噂が嫌、 価値観の違い、責任問題、 家の中を知られたくない		民生委員、区長さんへまずは相談する
2	街灯が少なく暗くて危険		字で申請する そのための話し合いを設ける
3	集まる場が少ない （理由）年代や価値観の違い、 コロナ禍、限定的		感染症予防をしながら集まる機会を設ける コロナワクチンを接種する




松 崎

①私たちが感じている課題について整理しよう！（「一部抜粋」以外）

- ・高齢者世帯の増加（買物、通院、ゴミ出し、行事への参加が不便）

- ・空き家問題（防犯、火災、防災）
- ・班長の声かけ、気くばり
- ・農地、耕作者がいない（荒れている）
- ・サロンの参加者が増えない（サロンメンバーのみの集まり）
- ・子どもたちの遊び場がない
- ・一人暮らしが増えている
- ・ふれあい広場に子ども達の防犯カメラを設置してほしい
- ・役員のなり手がいない
- ・コロナの影響により、新年会や町運動会中止により、縦の交流がない（寂しい）
- ・各層との懇談会がない
- ・無関心
- ・販売機のところへ家庭の物を持ってきて、すぐに山になってしまう

②「私たちにできること」を考えよう！

課題（テーマ）		私たちにできること（取り組みたいこと）	
1	世代間を含めた地域の交流		地域全体で年数回程度のゴミ拾いを実施 世代ごとにグループ(サロン)構成し活動 区長、班長が主体となり、参加者への声かけ 子どもを含めたイベントの企画 コロナ禍で中止している新年会、バーベキュー大会を復活
2	高齢者（一人暮らし）世帯の増加		見守り隊を結成し、一人暮らしの人に声掛け 困りごと等を相談できるひとを周知 （民生委員やサロン代表者等） 回覧板を手渡しし、声かけする
3	空き家、遊休農地の増加		




本沢・商工会

①私たちが感じている課題について整理しよう！（「一部抜粋」以外）

- ・コロナのため行事が中止となり、人の集まりができないため近所付き合いがなくなった
- ・交流の場が少ない
- ・子どもが地域にいない（少ない）
- ・子どもの宿題が多い
- ・空き家、農地の扱い方が難しい
- ・ゴミのポイ捨て
- ・お墓の管理に困っている（お墓が買えない）
- ・高齢ドライバーの問題
- ・交通問題（デマンドの使い勝手）

- ・スポーツを通じた交流

②「私たちにできること」を考えよう！




課題（テーマ）			私たちにできること（取り組みたいこと）
1	地域の交流が少ない 同世代の交流 世代間交流		サークルを作る⇒日課になる みんなができるスポーツ大会 子どもたちも参加できるようなイベント企画
2			
3			

上細谷・小新井

①私たちが感じている課題について整理しよう！（「一部抜粋」以外）

- ・近所付き合いが少なくなっている
- ・気軽に集まれる機会がほしい
- ・若い人との接点、交流がほしい（世代間少ない）
- ・コロナの関係もあり、人が外に出る機会が減った
- ・コロナの関係で、最近は特に地域での集まりがなくなった
- ・子どもが少なく、子どもを通じての付き合いがなくなった
- ・リーダーが少ない（やりたがらない）
 - ⇒知っている人にだけ声かけ⇒同じメンバーのみの集まりになってしまう
- ・町の行事があっても参加者が少ない
- ・今後さらに一人暮らし高齢者が増える⇒空き家が増える
- ・車の運転ができなくなった時の外出手段がない
- ・街灯が少ない
- ・防災無線が聞こえづらい
- ・交通の便の悪さ、スーパーなどの不便さ
- ・運動会は会える機会になるが、字単位は限界ではないか？
- ・接点が少なかったところに、コロナが上乘せされた

②「私たちにできること」を考えよう！

課題（テーマ）			私たちにできること（取り組みたいこと）
1	集まる場がない		楽しい「催し」を考える （コロナが早く終息してほしい）
2	交通不便		近所のお互い様の助け合い（共助、自助） 移動販売（多少高くても買う）
3	防災 逃げる場所		前もって避難場所を考えておく

結 果 の 概 要

懇談会の目的

内 容	目 的
課題について整理する	身近な地域の問題や困りごとを共有することで将来の地域を想定し、他人事ではなく「我が事」の問題として意識する
解決策「私たちにできること」について考える	同じ地域で生活する方々をゆるやかに巻き込みながら、住民主体の活動を生み出していく

課題の整理

○近所付き合いや地域の交流の場の減少、行事の参加者の減少等の「地域の交流」に関する課題が、どの地区でも共有している。今までの懇談会でも最も大きな課題でありながら、新型コロナウイルス感染症の影響等が拍車をかけ、行事やイベントの中止、外出の機会の減少等により深刻化している状況がみられました。

また、これらの背景等から「どこに」「誰に」相談したらよいのかわからないという意見もありました。

○子どもの減少、世代間交流がない等の世代を超えたつながりの希薄化も大きな課題となっている。その原因として、価値観やライフスタイルの多様化、環境問題（公園・遊び場）等の課題もあがっています。

○高齢者世帯や一人暮らし世帯の増加に関する課題も多く、見守りや声掛けの方法について、さらに個人情報の問題等があげられています。

○自治会（コミュニティ）について、役員のなり手不足や加入・脱会の問題、ゴミの課題も多くあげられています。

○交通手段に関する課題も多くあり、自家用車に乗れなくなった時、将来的な交通手段の確保や買物の場、通院などに多くの不安を感じています。

○地域活動や自治会においての担い手不足に関する課題も多く、担い手・リーダーの育成が課題となっています。

○空き家や遊休農地の管理への課題もありました。

○高齢化や一人暮らし世帯の増加等から防災や災害時の対応に関する課題もあげられています。

身近な地域における少子高齢化、単身世帯の増加が顕著であり、感染症の影響も加わり、地域のつながりの希薄化により様々な課題へ芋づる式につながっている状況がみられました。

「私たちにできる」解決策

●「地域の交流」「世代間交流」等のつながりに対する解決策

(例)

- ・ 交流の機会、行事を増やす、地域の方を巻き込み連携する
グラウンドゴルフ、散歩、花見、焼き芋、輪投げ 等
地域の方の活躍の場につなげる
- ・ 子どもも参加しやすい行事やイベントを開催する
- ・ 男性が参加しやすいイベントや集まりの場をつくる
- ・ 「何をしてほしいか」アンケートをとる
- ・ 既存の活動（サロン、100 歳体操、ラジオ体操等）を充実させる、復活させる
- ・ 日頃から積極的にあいさつ、声かけを行う
- ・ 公園の整備等の「いつでも集まれる場」「子どもの遊び場」をつくる
- ・ 近所へサービス等の情報を発信する

●上記の活動等を通じて、「担い手やリーダーの育成」「災害時のつながり・声かけ」に対する解決策へつなげる

●高齢者世帯等の見守りに対する解決策

(例)

- ・ 散歩をしながら声掛けを行う（庭先や畑等での声掛け）
- ・ 困りごとを把握する
- ・ 勉強会を開く
- ・ 世帯を把握する（マッピング等）
- ・ 見守り隊を結成し、一人暮らしの方へ声掛けする
- ・ 困りごと等を相談できる人を周知する

●交通に対する解決策

(例)

- ・ ご近所同士で声を掛けて、一緒に買ってくる
- ・ 店舗のサービスや移動販売車を利用
- ・ デマンド交通の利用方法を各自で学び直す（行政も周知を図ってほしい）

●空き家や遊休農地に対する解決策

(例)

- ・ 区長から行政へ声掛けをお願いする
- ・ 各行政区単位で簡単にできる共同作業をする

●防災・災害発生時に対する解決策

(例)

- ・ 地域ごとの防災イベントの開催

- ・ 防災組織の再点検、防災訓練の実施
- ・ 近所で声掛け、一緒に避難行動する
- ・ 隣の人と、もっと知り合いになる
- ・ 共通の認識づくり（チラシ、勉強会、意見交換等）
- ・ 前もって避難場所を考えておく

“子ども達も含めて” 気軽に集まれる、交流やつながりがある地域、あいさつや見守りのある地域づくりが求められています。コロナ禍の影響を踏まえ、住民同士の日頃からの関わりを再構築し、顔の見える関係性やお互い様の助け合いなど、共に支え合う地域づくりが期待されています。

今 後 の 展 開

「住みやすい吉見町」を実現するためには、懇談会での「住民だからこそできること（自助・互助）」と共に「専門機関（職）だからこそできること（互助・共助）」「行政だからこそできること（公助）」とが連携し、地域全体がお互いの努力と協力をもとに、地域の中で安心して生活していくための支え合いの仕組みを充実させることが重要となります。

吉見町社会福祉協議会においても、「第2期 吉見町地域福祉計画・地域福祉活動計画」（計画期間：平成31年～平成35年）を策定し、以下3つの「基本目標」と、その達成のための様々な施策を推進していきます。

基本目標1 福祉意識の醸成と担い手づくり

基本目標2 自助を支える互助・共助と公助が連携したまちづくり

基本目標3 すべての町民が安全で安心して暮らせる地域環境

本会においても、地区懇談会で出された課題やその解決策について、住民主体の地域福祉活動の推進を支援していきます。

また、地域で支え合える仕組みや住民相互の協力関係の構築、そして様々な専門機関との連携の強化、生活支援サービスの充実を図ります。

今後も、住民の身近な福祉課題の気づきを受け止める機能をつくることが重要であり、行政や専門機関、民生委員等と連携することで、「安心して相談できる」体制作りを目指します。そして、身近な圏域での支え合いの仕組みを充実させ、地域全体の福祉力の底上げを図り「誰もが誰かの力になれる地域づくり」を推進していきます。

吉見町社会福祉協議会の事業

(1) 法人運営事業

- ・法人運営事務

(2) 地域福祉事業

- ・吉見町敬老会の開催
- ・戦没者追悼式の開催【3年ごとに開催】
- ・福祉まっりの開催
- ・地区懇談会の開催
- ・ふくしまるごとフォーラムの開催
- ・ふれあい・いきいきサロン助成事業
- ・小地域福祉活動助成事業
- ・見守り活動推進員による見守り活動
- ・災害による被災世帯の支援
- ・地域福祉活動計画策定事業【5年ごとに策定】

(3) 在宅福祉サービス事業

- ・ささえあいサービス事業
- ・福祉移送サービス事業（福祉有償運送事業）
- ・在宅高齢者等配食サービス事業【町受託事業】
- ・老人愛の牛乳給食サービス事業
- ・福祉機器等の貸出事業

(4) 生活支援体制整備事業【町受託事業】

- ・生活支援体制整備に関する事業

(5) ボランティアセンター事業

- ・ボランティア活動に関する事業

(6) 福祉教育の推進事業

- ・福祉教育・ボランティア学習活動に関すること

(7) 福祉相談事業

- ・心配ごと相談事業（毎月第2・4火曜日）

- ・福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）【県受託事業】
- ・法人成年後見事業
- ・福祉資金貸付事業
- ・生活福祉資金貸付事業【県受託事業】
- ・彩の国あんしんセーフティーネット事業の支援

(8) 介護保険事業等

- ・訪問介護事業（訪問介護、訪問型サービスA）
- ・通所型サービスC事業（げんきまもり隊）【町受託事業】
- ・障害福祉サービス事業（居宅介護、重度訪問介護、移動支援）
- ・居宅介護支援事業（居宅介護支援、介護予防支援、介護予防ケアマネジメント、要介護認定調査、住宅改修手続き支援）

(9) 埼玉県共同募金会吉見町支会事業

- ・赤い羽根共同募金事業
- ・歳末たすけあい募金事業

(10) 日本赤十字社埼玉県支部吉見町分区事業

- ・日本赤十字会員の募集
- ・各種災害義援金の募集

(11) 福祉団体育成事業

- ・吉見町遺族会
- ・吉見町シニアクラブ連合会
- ・吉見町赤十字奉仕団

(12) 老人福祉センター荒川荘管理運営【指定管理事業】

- ・荒川荘管理運営
- ・荒川荘事業（輪投げ大会、囲碁大会、将棋大会、パークゴルフ大会等）

社会福祉協議会は、地域の皆様と手を携えて地域福祉を進めてまいります。
ご協力ありがとうございました。

社会福祉法人吉見町社会福祉協議会

電話：54-5228 FAX：54-6905